

沖繩縣令鍋島直彬謹言

思フテ言ハサルハ忠ニアラサルナリ故ニ権限ヲ顧ミス
愚意ヲ吐露ス取捨ハ唯閣下ノ英斷ニアリ
閣下幸ニ擇ヘ夫レ廢藩置縣ノ後

朝廷威令ト處分官ノ盡力ニ由リ尚泰父子
恭順命ヲ奉シテ上京爾後既ニ一歲其家族ハ
尚依然トシテ舊里ニアルアリ條理ヲ以テ之ヲ論ス

レ尚泰ニシテ東京府貫屬タル即チ其家族モ
亦一旦悉ク東京府ニ移住ス可キハ言ヲ俟タス
況ンヤ許可ヲ蒙ラスシテ湯ニ舊里ニ留ルハ不敬
大ナルモノナリ翻テ天倫上ヨリ之レヲ説ハ未ク曾テ
苗褥ヲ離レサリシ尚泰 朝命ノ重キヲ

知リ病ヲ扶ケテ速ニ上京シ不慣ノ地ニ住ス然ルニ

其家族タルモノ之レヲ思ヒ之レヲ慕フノ意ナク頑然

舊里ニ安坐シテ動カス是豈人ノ情ナランヤ萬一

朝命アリテ其上京ヲ碍ムルモ自カラ請フテ尚泰

ニ東京ニ從フヘシ是レ天倫當然ノ情ナリ亦甚ク

恠ムヘシ加フルニ尚泰ノ心或ハ羈旅ノ思ヲナシ在縣

ノ舊臣輩モ家族ノ尚オ留リテ舊里ニアルヲ以テ

尚泰ハ暫ク東京ニ客トナリ直ニマタ歸縣スヘキモノ

トシ或ハ誤ツテ疑フ其間ニ抱クモノアラン是レ政略

ノ得タルモノニアラス條理ヲ以テ論スル固ヨリ不可ナリ
天倫ノ情誼ヨリ説モ亦不可ナリ政略上ヨリシテ
之レヲ見ルモ亦復不可ナリ己ニ此ノ三ノ不可アリ
而シテ遲緩歲月ヲ送ラハ
朝廷威令

貫徹セサルモノ、如シ願クハ速ニ英斷ヲ以テ嚴
重家族ノ上京ヲ命セラレ併セテ尚健尚強ノ上

京ヲモ命セラレントシ時幸ニ海程平穩ノ節
ニ臨ム家族等上京ノ好期自カラ今日ニ在リ

唯閣下、英斷ヲ仰リ謹言

明治十三年四月二十四日

沖繩縣令 鍋島直彬

伊藤泰議公閣下

明治十三年五月

參議大隈重信



項日金銀ノ價直非常ニ昂上スルニ從ヒ物品ノ價直モ亦々乱動
浮沈シテ定ラス其禍害ノ及フ所將サニ測ラレサラントスルノ
狀勢アリ今日ニ於テ之ヲ救治スルノ政策ハ正金通用ノ制ヲ設
ル一事ヲ除テ復々他ニ良謀善計アルヲ見サルナリ願クハ非常
ノ英斷ヲ以テ是ノ政策ヲ奉行アラントシテ是ノ政策施行ノ方案
及ヒ其得失利害ハ則チ別冊ニ列舉シテ進呈ス凡ソ應變ノ政策
ニ貴ム所ノ者ハ其果決急施ニ在リ今日金銀物價變動ノ勢タル
其救治一日ヲ後ルレハ則チ一日ノ禍害ヲ增添シ一日ヲ早クス

本
政
第